

木材ジャーナル名古屋・せぶ

平成28年10月号 No.113

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

28年度「木の日」の要望活動実施

木材業界では例年「木の日」(10月8日)を期して、業界全体として木材の利用推進のための普及啓発活動等を展開してきている。

愛知県木材利用推進協議会(鈴木和雄会長)では、本年10月5日(水)に協議会構成団体の各代表等19名が参加して、県庁、県議会、県警本部、国の地方機関である中部地方整備局、東海農政局に木材利用推進に関する要望活動を行った。その要望活動の内容は次の通りでした。

なお、名古屋市へは10月19日(水)に行きます。



(愛知県 森岡副知事)



(加藤農林水産部長)

1. 要望項目

〔県、県議会、県警本部〕

- 1 県産木材利用促進に向けた基本方針「あいち木づかいプラン」に即して、県が整備する若しくは補助する公営住宅、学校、福祉、観光、公園施設等の公共施設並びに公共工事における「あいち認証材」等の利用促進
- 2 空港島で計画されている大規模展示場の整備や開催が予定されている全国植樹祭における「あいち認証材」の利用促進
- 3 アジア大会関連施設整備における木造・木製品の採用
- 4 木造住宅の建設促進及び「あいち認証材」利用促進のための施策の推進
- 5 愛知県環境物品等調達方針に基づく「合法木材・木製品」の調達促進及び、より環境負荷の少ない「あいち認証材」の優先利用の推進
- 6 木材の利用拡大に向けた試験研究の充実

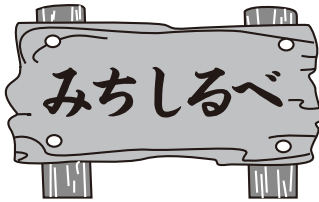
〔中部地方整備局、東海農政局〕

- 1 「公共建築物における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、公用・公共施設などにおける木材利用の推進
- 2 公共工事などでの木材の積極的な利用の推進
- 3 グリーン購入法による合法木材、木製品調達の一層の推進

愛知県木材利用推進協議会構成団体

団 体 名	代 表 者
一般社団法人愛知県木材組合連合会	会 長 鈴 木 和 雄
愛 知 県 木 材 協 同 組 合 連 合 会	会 長 西 垣 洋 一
愛 知 県 森 林 組 合 連 合 会	代表理事長 村 松 幹 彦
愛 知 県 森 林 協 会	会 長 三 浦 孝 司
愛 知 県 木 材 市 場 連 盟	会 長 西 垣 泰 幸
愛 知 県 木 材 買 方 協 同 組 合	理 事 長 竹 内 喜 陽 雄
中 日 本 合 板 工 業 組 合	理 事 長 内 藤 和 行
愛 知 県 集 成 材 工 業 協 同 組 合	理 事 長 服 部 伸 一
愛 知 県 木 材 青 壮 年 団 体 連 合 会	会 長 稲 垣 康 文

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



二宮尊徳(金次郎)の「報徳思想」を学ぶ

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

先日、名古屋木材商工組合（現名古屋木材組合）の500号記念誌（昭和31年月報集）を読んでいたたら、『巻頭言』に当時の組合長、宮路太市氏が組合の在り方について次のように書いておられました。

『組合は直接の利益を与えるものではないが組合は同業者の親睦を計り尚愛知県木材組合連合会、全国木材組合連合会と共に活動して業者の福利を計り導く事は明白である。今問題として居るのは木材税の撤廃、国鉄運賃の問題、木材利用合理化の問題、正量取引、等数え来たれば多々ある。依って木材関係者の組合に協力を心から望んで止まない。』とありました。

現在もウッドファースト社会実現に向け我々は多くの課題を抱えています。又、残念なことです木材業界のみならず、昨今、国内外で「コンプライアンス」の欠如による企業不祥事が後を絶ちません。今は全ての企業が「社会的責任（CSR）」を問われている時代です。

私自身、企業経営を行うにあたり、石田梅岩から始まる先人が築き上げてきた日本の伝統的な商人道を学んできました。強く感じているのは、商売を長く続けるには、近江商人の理念である「三方よし」（売り手よし、買い手よし、世間よし）の精神が大切であることです。又、企業不祥事の報を聞くたびに、二宮尊徳の「報徳思想（以德報徳）」の教えに身が締まる想いを抱きます。

「報徳思想」とは「至誠」（まごころ）を基本とし、「勤労」「分度（ぶんど）」「推譲（すいじょう）」を実行するという考え方です。尊徳翁は、「万象具徳」（ばんしょうぐとく）“あらゆるものに徳はある”とし、「積小為大」「大事を成さんと欲するものはまず小事に務むべし。それ小を積みば大となる」、「一円融合（観）」“すべてのものは互いに働きあい、一体となって結果がでる”として、「心田開発」“心の田畑さえ開墾できれば、世間の荒地を開くことは難しからず”と教えています。

また、“誠実にしてはじめて禍を福に変えることができる。術策は役に立たない”とし、“道徳を忘れた経済は罪悪である。経済を忘れた道徳は寝言・陳腐である。”そして“経済一辺倒でもだめ、道徳一辺倒でもだめ、道徳・経済が一体となった社会でなければならない。”と、道徳と経済一元化を説かれています。現在は、経済的拡大を目指す余り、権利意識、自己中心的な風潮を高め過ぎており、「道徳を忘れた経済は罪悪である」を行っているといっても過言ではないような状況です。企業も人も今、尊徳翁の報徳思想を学ぶ姿勢を持たねばならないと思います。

さらに、尊徳翁は、“樹木を植えて30年たたなければ材木にならない。だからこそ後世のために木を植えるのだ。今日用いる材木は昔の人が植えたものだとするれば、どうして後世の人のために植えないでよからうか”と説かれています。私共組合が130年もの長きに渡り活動できるのも、先人・先達の努力の賜物です。今の私たちも、後世のために業界の更なる発展に向け、1本1本苗木を植えて参りたいと思います。そのためにも、宮路太市元組合長のお言葉をお借りすれば、「木材関係者の組合に協力を心から望んで止まない」との想いです。

◆ 合縁木縁 ◆

「木曽川流域材で家を建てる」

世界では木材需要の半分は燃料、半分が建築とパルプ。日本では半分が建築、半分がパルプという現状です。国産材の需要を創造していくためには住宅などの建築分野で木材をもっと使ってもらうことが必要であり、日本の木造住宅の大半を建てている工務店様に国産材の価値をしっかりと理解してもらうことが重要であると考えます。

工務店様が建てる国産材の家づくりの価値を伝えるため、お施主様が木造住宅を建てる際に木を選ぶシステムとストーリーをつくりこみ、国産材の家づくりをオススメしていくことがまずは第一歩なのではないかと考えます。残念ながら木造住宅を建てるお施主様はキッチンやトイレ、内装材、外装材など目に見えるところは関心が高いですが、一方構造材などの見えない骨組である木材にはほとんど関心がないため、木材ましてや国産材にこだわって家づくりを行う工務店様は少数派です。

木を選ぶシステムとストーリーということで、もっとお施主様に国産材の使用価値をわかりやすく伝えるために、産地と消費地をつなげる水の縁に着目して「木曽川流域木と水の循環システム協議会」を2013年に立ち上げて3年が経ちました。生活、産業に密接した水の出処は山、その山が活用整備されないと水の恩恵や森林のもつ多面的な機能が損なわれてしまう可能性があります。下流に住まう人が思う上流の現状は、森林が活用整備されず土壌の保水機能が落ち、大雨による山崩れや鉄砲水のニュースをみたちよとの間、自然の循環の大切を思い出す程度です。人と山と水は密接な関係にあるにも関わらず、蛇口をひねってでてくる水に感謝し思いを馳せるということはそうそうありません。

野菜などは多少の虫食いがあっても有機栽培の少し値段が高いものを好む消費者が少なくありません。我々木材事業に携わる人間が木材のイメージを変えていく、消費者に木材のポテンシャルを知ってもらい、日本の木をお施主様と工務店様、生産者がプライドをもって使ってくれるような活動を今後いっそう取り組んでいきたい所存でございます。

今回は、セントラルウッド(株) 管理リーダー 吉田 司氏にお願いします。

◆ 自遊で異見番 ◆

「秋の運動習慣」

この度、新たに広報委員として任命を承りました、(株)山西の西垣友統と申します。若輩者の私が歴史と伝統ある「木材ジャーナル」の編集に携わせていただくことに少々恐縮しております。前月号での材惣木材(株)の高橋氏と同様、広報の経験は特にございませんが「木材ジャーナル」の編集を通して、微力ではございますが木材業界の発展・普及に尽力して参りたいと思います。何卒宜しくご指導下さいませようお願いします。

さて、日増しに秋の深まりを感じる今日この頃、日中の暑さも徐々に和らぎ、秋がもう目の前にきているように思われます。秋は私の一番好きな季節であり、“スポーツの秋”ともいうべく運動しやすい気候です。私自身、社会人になって10年、あまり運動が出来ていないことを痛感しております。少々腹まわりの肉も気になり始めてきましたので、この機会に“運動習慣”をつけたいと思っています。久しぶりに学生時代にやっていたテニスでもしてみようかなと…。

テニスと言えば、男子日本人96年ぶりとなるリオ五輪での銅メダルに始まり、先日の全米オープンでも惜しくも準決勝で敗れはしましたが大奮闘した錦織選手。世界第5位という目まぐるしい活躍には尊敬の念を抱いてやみません。グランドスラム(4大会)優勝が当面の目標とのこと。彼が優勝する日もそう遠くないのではないのでしょうか。

私も「健康管理」という目的・目標を持ってスポーツに汗を流したいと思っています(錦織選手を引合いに出すのは大変失礼な話ですが…。)

スポーツに限らず、何事も「習慣化」させることは難しいものです。新しいことに挑戦しても続かないことは誰にでも経験があるかと思います。私も然りで。少しでも錦織選手のような強い精神力を見習いたいものです。

皆様もこれを機に何か新しい習慣にトライしてみたいかがでしょうか。



このたび 10月1日付けで 名古屋港木材産業協同組合 事務局長に就任いたしました。
つきましては 木材産業界の発展に努力いたす所存でございますので 今後とも一層の
ご指導ご鞭撻を賜りますよう 心からお願い申し上げます。

名古屋港木材産業協同組合
事務局長 柿内 賢治

お知らせ

☆☆☆ 第5しいのき橋工事が行われますのでご協力ください ☆☆☆

- (1) 工事場所 愛知県弥富市楠二丁目
- (2) 期 間 昼夜通行止め予定期間 平成28年10月17日～平成28年12月28日
- (3) 発 注 者 名古屋港管理組合 港湾工事事務所 TEL: 052-384-6013
- (4) 工事受注者 株式会社おかむら 海部作業所
愛知県弥富市楠一丁目6番地 TEL: 0567-68-3525

☆☆☆ 木工教室を開催します〈6組限定〉 ☆☆☆

11/3(木)文化の日に飛島村中央公民館で木工教室を開催します。
地域貢献として、「イスと多目的テーブル作り」を夫婦又は親子
で楽しんでもらえればと思います。

材惣木材(株)

- 場 所 飛島村中央公民館 6組様限定
- 時 間 9:00～12:00
- 参加費 1,000円



◆ 広告コーナー

育て木材の未来

Iida

http://www.iidakg.com

独創の未来を拓きます



各種木工機械・産業機械・レーザ加工機・試験機の総合メーカーです。

飯田工業株式会社

本社 愛知県小牧市大字村中153番地 ☎485-8655

TEL0568-75-5321 FAX0568-75-5329

http://www.iidakg.com E-mail:gyomu@iidakg.co.jp

人と環境のことを一歩進んで考えています

中国木材株式会社

どう使う!?

ムク・ボード

国産スギ・国産ヒノキ

床倍率3.0倍 (標準サイズのみ)

F★★★★

標準サイズ

厚み: 24、28

大きさ: 910×1820

955×1910

単位: mm 1000×2000



味があつて
イイですよ。

活用術はコチラ  中国木材 検索

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣 洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木 昌行
〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会